



# 連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局

Tel&Fax 894-0052 <http://www5e.biglobe.ne.jp/~renkyou/>

Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 240 号

2009.09.06

## 衆院選を受けて

後世の歴史に残るこの 8 月 30 日はテレビに釘付けで、気がついたら翌日になっていました。ついに変わったのです。「市民が中心の政治」、「国民主導の政治」を謳い「政権交代」したのです。身が引き締まる思いでした。

これからは当選した政治家だけに任す訳には行かないと思います。この宣言を自分達のものとして決して忘れずに、今までのようにお任せで何を言っても、満足な説明もなく却下あるのみの世界とは様変わりすることを見届けなければなりません。

しかしマニフェストに捉われすぎて安心してはいけません。事は簡単に行かず数々の紆余曲折が予想されます。官僚はしたたかであり「マニフェストさえ達成すればいいんですね」という姿勢で、明治以来の堅固な組織を守ろうとするに違いありません。

そうではなく、今までなかった市民が参加する政治を求め我々の手で政治のプロセスを監視し続け、開かれた政治を求めなければならないのです。

連協としてもこの観点から仕事が増えることになると思います。21 年前から掲げて続けている「計画の白紙撤回を含め見直し」のゴールに向かって、納得できる説明と徹底した情報公開を求め、政治と行政を迫及することになります。具体的には今年度中にこの横浜環状道路の事業について法律に基づいた事業評価監視委員会が開かれます。政権交代の試金石として今までどおりのシステムで実行されるのか、厳しく見守りたいと思います。これまでの諸先輩達の努力が実るよう、全員一丸となってさらに活動したいと思いますのでどうぞ皆様よろしくお願いたします。

(連協会長 比留間 哲生)

## 政権交代と横浜環状南線

### 1. 天の時来たる

去る 8 月 30 日の総選挙の結果、歴史的圧勝・惨敗という形で政権交代が実現し、その結果南線問題も新しい局面を迎えた。連協は過去 21 年間にわたり住民にとって何のメリットが無いばかりか、大気汚染や地盤沈下など公害発生道路である南線建設に反対し、平成 9 年度完成供用という当初の予定を平成 27 年度完成に延期させた。この間我が国は金余りの高度成長時代から 800 兆円を超える借金大国となり、税金は高速道路どころではなく、より切実な医療、介護、教育などに使う必要に迫られている。こうして、南線建設も根底から見直される天の時が到来した。

### 2. 南線は建設中止の方向へ

南線 8.9Km の建設費 4,300 億円の内訳は暫定税率による道路特定財源から 1,200 億、横浜市から 600 億、残りが NEXCO の自己調達である。当局側の圏央道建設促進会議は、「暫定税率が廃止されると圏央道の完成が 20 年遅れる」と悲痛な叫びを挙げている。民主党のマニフェストには「暫定税率廃止」を明記しており、道路特定財源は無くなるので南線への 1,200 億円は出なくなる。その結果当局も言うように南線建設は 20 年遅れる事になり、これは建設中止を意味すると考えられる。

### 3. 今後の運動の進め方

①政治に対する国民の信頼が失われている今、新政権が公約通り本当に暫定税率廃止を実施するか、一抹の不信と不安がある。連協として暫定税率廃止の公約を必ず守る様厳しく監視し、そのための効果ある運動を進めたい。  
②南線廃止後の大きな問題は、道路予定地などを今後環境保全と住民の利益のためにどのように役立てていくかである。(裏面へ)

具体的には庄戸と湘南桂台の道路予定地、桂台の立ち退き跡地、公田インター予定地などをいかに有効利用するかについて住民の意見を十分聞いたうえで集約し、それに基づいて当局と交渉する事になる。今迄のような行政が決めた計画を一方向的に押し付けるやり方ではなく、住民と行政が対等の立場で計画段階から関与する方向に変えるべきであり、それが国民による国民のための政治という今回の政権交代の大きな目的でもある。

(法都計部)

## 盛土+雨+地震=地盤崩壊

8月11日早朝、駿河湾震源地震は、静岡県で最大震度6弱を観測。山間部の高速道路は建設費抑制のため、盛土土台の上部をアスファルト舗装して造られているが、NEXCO 中日本は、東名高速の耐震性について「阪神・淡路大震災レベルの揺れに耐えられるように耐震補強している」と説明。しかし、今回の地震は、最大計測震度が5.9(菊川IC付近)で、阪神・淡路大震災の震度7よりも揺れは小さかったとみられる。同社は「今回のような盛土については、耐震性を明確な計算で求めるのが難しい」とした上で、「揺れだけでなく土質や水分の多少など、複合的な要因で崩落が起きたとみられる」と話した。



(東名上り線、道路崩落現場)

庄戸地区と桂台地区は本来、盛土造成地域であり、潜在的崩落の危険性を常に伴う。特にトンネル掘削による水道(みずみち)の変更が起これば、地盤崩落の危険性は益々増加すると思われる。(一部朝日新聞より抜粋)

## 栄区長との懇談

栄区の「栄区まちづくり行動計画(仮称)」の素案(案)についての説明会が、7月17日午前、光田区長、区政推進課長他3名と、連協代表者8名(比留間、松本、鈴木、横地、山口、岩倉、小沼、長谷川)で行われた。

連協から道路・交通テーマを中心に多くの意見を出し、区としての見解等を質問し、熱心な意見交換が行われたが、連協としての最終的提案・意見を文書で提出する事となった。

以前は連協を全く無視していた区役所も連協の存在を無視できなくなり、まちづくり行動計画の検討委員会メンバーとして認定され、比留間会長がその委員に就任した。

(事務局)

## 当選議員を見守りましょう。

連協は道路ニュース239号で、国政、市政の選挙立候補者に対して緊急アンケートを行いました。当選者が決まった以上、連協に対するアンケート回答と言動が一致するかを、今後十分に見守り、監視する必要があります。

### 次号予告

例年行っている環境調査報告の前期分は、次号に掲載する予定です。

## 活動報告

- 08/02 朝日平和台での幅杭打ち作業強行について NEXCO 東日本社長に抗議書送付
- 08/04 朝日平和台自治会長以下、NEXCO 東日本横浜工事事務所に抗議
- 08/19 神奈川四区衆院議員、横浜市長、栄区市会議員補欠選挙の立候補者への公開質問&回収作業
- 08/24 上記関連で連協道路ニュース第239号(臨時号)発刊
- 08/20 国交省関東地方整備局訪問(事業評価監視委員会への要望書の回答請求)
- 08/28 栄区まちづくり行動計画等に関わる栄区長、他との懇談会